

## イネカメムシの発生状況について

今年には暖冬の影響により、全国各地でカメムシ類の大発生がニュースや新聞等で報道されています。水稻では、出穂期に吸汁して不稔を引き起こす「**イネカメムシ**」や穂揃期に吸汁加害する「**斑点米カメムシ**」の多発生が懸念されています。



◀飯塚市庄内地域の元気つくしほ場で、出穂前の水稻に多数のイネカメムシが飛来していました。

(令和6年7月16日撮影)  
※この時期に防除する必要はありません。

管内のイネカメムシ発生状況については、早期水稻が7月上旬頃から出穂が始まり、圃場内への飛来が確認されています。頭数も昨年同様に多い傾向であり、出穂期防除が順次行われています。

また、上記の写真のように、圃場によっては出穂前の普通期水稻に多数のイネカメムシが飛来していることがあります。出穂時期の防除を実施しない場合、吸汁被害による収量低下が予想されますので、圃場の状況をよく確認し、必ず出穂期防除を行いましょ。



飼料用米もイネカメムシの被害は発生しますので、必ず出穂期防除を行いましょ。

◀イネカメムシの被害による不稔粒多発ほ場(筑穂地域の飼料用米ほ場 令和4年撮影)

裏面には、「カメムシ類防除の手順」について記載しています。

# 令和6年産水稻 カメムシ類 防除手順

まずは農薬の使用方法について栽培ごよみをご確認下さい。

名称	10a当たりの使用量
エクシード 粉剤DL	3kg
エクシード フロアブル	希釈倍率2000倍 散布液量60~150ℓ
スタークル 豆つぶ	250g

7月に開催される現地講習会の資料にて田植日ごとの予想出穂期を確認。

品種	5月19日		5月26日		6月2日	
	予想 出穂期	予想 穂肥時期	予想 出穂期	予想 穂肥時期	予想 出穂期	予想 穂肥時期
夢つくし	7月29日	7月9日 ~11日	8月2日	7月13日 ~15日	8月6日	7月17日 ~19日

  

品種	5月26日		6月2日		6月9日	
	予想 出穂期	予想 穂肥時期	予想 出穂期	予想 穂肥時期	予想 出穂期	予想 穂肥時期
元気つくし	8月9日	7月20日 ~22日	8月13日	7月24日 ~26日	8月17日	7月28日 ~30日
ヒノヒカリ	8月16日	7月27日 ~29日	8月20日	7月31日 ~8月2日	8月24日	8月4日 ~6日

出穂期は予想ですので天候等により前後します。圃場をよくご確認下さい。



○出穂期・穂揃期の2回防除を実施しましょう。  
※使用薬剤ごとに散布タイミングが違う為、ご注意下さい。

## ○スタークル豆つぶの場合

※スタークル豆つぶは根から吸わせる薬剤の為、効果が出るのに時間がかかります。

1回目(不稔籾防止)

出穂10~5日前  
に散布

幼穂が大きくなり  
出穂する前



2回目(斑点米防止)

出穂期~3日後  
に散布

4~5割の穂が  
出穂した時期



## ○エクシードフロアブル・エクシード粉剤使用の場合

1回目(不稔籾防止)

出穂期に散布

4~5割の穂が  
出穂した時期



2回目(斑点米防止)

出穂7~10日後  
に散布

穂が出揃って  
垂れ始める時期



## ※JAの空中散布防除を利用される場合

1回目(不稔籾防止)

エクシードフロアブル・粉剤か  
スタークル豆つぶを**各自散布**

2回目(斑点米防止)

JA・空中散布業者より地区世話人立会いのもと、予想出穂期の7~10日後を目安にエクシードフロアブルを散布します。

JAの空中散布防除は共同防除の為、1回目の出穂期散布は散布日に圃場によっては出穂していないなど統一が不可能な為、2回目の出穂7~10日後の斑点米防止の散布のみ行います。

★ご不明な点は、JAまたは普及指導センターへお問い合わせください。